



ま
ち
の

達人

TATSUJIN

大塚中学校

教頭 福井清司



幼いころから
絵を描くことが
好きでしたが、
本格的に学んだ

ことはありません。教員をして
います。専門教科は英語です
ので、「達人」と言われる
と恥ずかしい限りです。

若いころ、学級・学年だより
を作るのに、市販のカット集を
使うのも味気ないと思い、自作
のカットを使い出したのがきっ
かけです。たよりに先生たちの
似顔絵を登場させたところ、こ
れが生徒たちから好評で、以後
やみつきとなってしまいました。
似顔絵は、基本的に顔写真を
もとに描いています。制作時間
はモデルによって大きく異なり
ます。特徴を捉えやすい人は、

ものの数分で完成となります
が、まったく筆が進まず十分
を要する人もいます。そんな時
は、雑談をもちかけ、人となり
を知ること、その人の特徴を
捉えるようにしています。苦勞
の末、完成させた作品を周りの
人々から褒められたりすると、
この上ない喜びを感じます。

現在勤務する大塚中学校で
は、職員室入口の職員座席表や
職員の出勤札に似顔絵を入れて
います。また、授業で使うプリ
ント類にも、いろいろな先生た
ちを登場させています。絵に対
する生徒たちのリアクションを
見るのも楽しいものです。

「遊び心」と言うと、叱られ
るかもしれませんが、私自身、
大切にしていることの一つで
す。とかくストレスのたまりや
すい現代社会においては、思わ
ずにこりとしたり、ほっとした
りする瞬間というのが必要だと
感じています。大きなことはで
きませんが、自
分の絵が職員
や生徒たちの
心を少しでも
いやすことに
つながればと
思っています。

大塚中学校の先生たち



壁谷雄二先生

河合校長先生



学芸員 小林龍二

竹島水族館 ☎68・2059

寒いこの時期、水槽の中で
ヌクヌクと生活している魚が
うらやましくなります。特に
熱帯魚は年中、彼らにとって
快適な水の温度に保たれてい
る水槽で暮らしているの、
ぜいたくです。

魚たちは水槽という限られ
た空間で過ごしますが、住環
境はそこそこ快適なので、元
気にエサもよく食べます。よ
く考えると過保護なのかもし
れません。

逆に飼育員が作業する裏方
は、暖房もクーラーもないの
で大変です。とりわけアシカ
ショーを担当するお兄さんた
ちにとって冬は辛い季節。手
がかじかんで動かなくなつた
り、うまく話せなくなつたり

冬のショー

します。新人トレーナーは冬
になるとアシカ担当になつた
ことを少し後悔します。
ショー中は寒さで手の感覚
がなくなるので、輪投げなど
は思わぬ方向に飛んでいつて
しまい、アシカに「取れない
よお」という顔をされること
もあります。広報を読んでは
る皆さんにだけのヒミツ話で
すが、実は、あまりにも寒い
日などは「ちゃんと言を見と
らんとあかんでしょうが、
ほおつとしとるから取れん
だに」などと三河弁で言っ
て、ミスをアシカのせいにし
てしまうことさえあります。

お兄さんと違って、アシカ
は寒さがへっちゃらで、冬の
動きは抜群です。逆に暑い夏
はバテてしまうことがあります。
そんな時はお兄さんが汗
をいっぱいかきながらアシカ
をフォローするのですが、こ
の汗は暑いからというより
も、ショーが失敗しそうな時
の冷や汗です。

